

フェンダーミラー復活のご提案

— 高齢者・運転不安者・緑内障ドライバーの安全運転支援 —
「ユニバーサルデザインカー」

提案先

トヨタ自動車株式会社（トヨタ 2000GT はフェンダーミラーでも美しい）
日産自動車株式会社（フェンダーミラーでネオ・クラシックデザインの
Be 1・パオ・フィガロ・ラシーン・エスカルゴ 美しく楽しい車にはスピードはいらない）
ほか国内自動車メーカー各位

提案者 岡田康博

1. 目的

日本の高齢化進行に伴い、視覚や運転操作に不安を抱えるドライバーが増加しています。フェンダーミラーは視線移動量を抑え、死角を減少させることで、高齢者・運転不安者・緑内障患者の安全運転を支援できる有効な車両構造です。本提案では、自家用乗用車へのフェンダーミラー復活と新型モデルへのオプション設定をメーカー各社にご検討いただくことを目的とします。

2. 背景

- 事故統計：高齢運転者（70 歳以上）が関与する交通事故は全体比率で増加傾向にあり、視認不足・操作ミスが主因となるケースが多い。
- 視覚障害：日本眼科学会によれば、40 歳以上の約 5%が緑内障を有すると推計され、周辺視野欠損が運転リスクを高める。
- プロドライバーの事例：トヨタ「JPN TAXI」に採用されるフェンダーミラーは、タクシー乗務員から高い評価を受け、巻き込み事故防止に寄与している。

3. フェンダーミラーの優位性

項目	効果	特に有効なドライバー
視線移動の軽減	前方視界内で左右確認が可能。疲労低減 & 反応速度向上	高齢者・緑内障・運転不安者
死角縮小	左前方～側方の巻き込み確認が容易	都市部・狭路を頻繁に走行するユーザー
駐車支援	車幅・縁石位置の把握が容易	教習中・初心者
乗降安全	後席ドア開閉時に自転車や歩行者を確認しやすい	タクシー・福祉輸送車
視認補助	ヘッドアップディスプレイ（HUD）による視線移動の抑制と情報提示の簡素化	高齢者・夜間視力の衰えたドライバー

4. 提案内容

4.1 商品企画

1. 高齢者向け特別仕様車

ベース車：コンパクトカー／軽自動車（例：ヤリス、ソリオ等）

装備：フェンダーミラー＋視界補助カメラ（左前方）＋視認性の良いヘッドアップディスプレイ（HUD）＋先進安全装備（ADAS）

2. メーカーオプション設定

全車種でフェンダーミラーを選択可能とし、ユーザーの多様なニーズに対応。

3. デジタルフェンダーミラー開発

カメラユニット＋車幅灯一体化で空力・デザイン課題を解決。

4.2 マーケティング・販売施策

体験試乗会：ディーラーや高齢者講習でフェンダーミラー車の視認性を体験。

購入補助金提案：自治体や国交省と連携し、安全装備導入補助の対象にフェンダーミラーおよび HUD を追加。

啓発コンテンツ：緑内障学会・眼科医と連携し、フェンダーミラーおよび HUD の有用性を訴求。

5. 期待効果

事故削減：高齢運転者の巻き込み・接触事故を低減（社内試算：左側面接触事故▲30%）。

視線負担軽減：フェンダーミラーと HUD の併用により、視覚情報確認のための動作を大幅に簡素化。

ブランド向上：ユニバーサルデザインを掲げる企業姿勢の強化。

新市場創出：福祉車両・カーシェア高齢者プラン等、付随ビジネス拡大。

6. 実証

本提案の実効性を確認をメーカー・JAF・大学研究機関、下記の実証実験にアイ・トレーシング・カメラによる実証

1. 高齢・緑内障ドライバー参加型ユーザーテスト
2. デジタルフェンダーミラーと HUD の空力／視認性／運転評価比較
3. 教習所での運転技能向上効果測定